

自己評価報告書(最終報告)

報告者

芸術系コース(音楽)
／草下 實

■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

1. 目標・計画

次年度退職年齢を迎えるため、私自身関われませんが、例年音楽コースとして申請する研究内容等で可能な限り、協力する。

2. 点検・評価

I-1については、科研費申請に向けた計画に係る、コースの次年度へ向けての協力をした。しかし、私は平成25年3月31日付けで定年退職をする立場上、あまり、この件については具体的に関わらず、意見を述べる程度に留めた。

I-2の大学院の定員充足については、他大学所属の知人に個別パンフレットの送付、電話等により広報活動を実施した。非常勤先や前任校での広報を行った。

I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

1. 目標・計画

今まで広報に努めた、音楽大学を中心に個別に教員にパンフレットの送付、電話等での直接的広報を実施する。また、大学院に在学する学生に協力を求める。平成24年度に新たに非常勤講師として委嘱を受けた大学(近大姫路大学)において、スクーリング等の際に広報を実施する。

2. 点検・評価

Ⅱ. 分野別

Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

教育に関しては、学校教育実践に有効な歌唱教育を展開する。教員採用試験対策として、今まで通り、毎週「弾き歌い及び歌唱」の指導と教育課題の抽出と解決のためのディスカッションの時間を設定し、実施する。

2. 点検・評価

Ⅱ-1教育・学生生活支援の年度目標、教育実践に有効な歌唱教育として「童心を通した歌唱表現活動」を展開し、授業目標の達成やその成果に大いに反映できた。教員採用試験対策として毎年続けている特別授業を対象年度の学生3名に対して5月～6月の間、毎週指導を実施した。

Ⅱ-2. 研究

1. 目標・計画

教員養成大学における音楽教科の表現活動(歌唱)のあり方と指導方法に関する総括的研究を行う。

2. 点検・評価

教員養成大学における音楽教科の歌唱表現活動のあり方と指導方法に関する総括的研究を行い。歌唱指導のテキスト案を草稿するとともに、学部及び大学院の授業において実践的に検証した。学生からの評価も高い。また、「童心を通した歌唱表現」を最終講義においても実施し、高評を得た。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

自己の立場でできる事項に、可能な限り協力する。

2. 点検・評価

Ⅱ-3

大学運営に関しては、附属図書運営委員会委員、調査委員会副委員長、教育実践顕彰委員会委員として可能な限り協力した。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携、国際交流等

1. 目標・計画

NHK全国学校音楽コンクール本年度四国ブロック(8月)の審査委嘱を受けた。徳島県邦楽推進委員会会長として推進事業に関わる。

2. 点検・評価

社会貢献については、徳島県邦楽推進委員会会長、NHK全国学校音楽コンクール四国ブロックの審査員等、さらに徳島県教育委員会の委嘱を受け、平成24年度「10年次研修」の講師を務めた。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

特になし